

自動パスポートコントロール（APC）

自動パスポートコントロールとは何ですか？

自動パスポートコントロール（APC）とは、米国籍、カナダ国籍、及びビザ免除プログラム有資格旅行者に、CBPの主要な審査場にて自動化プロセスを提供する事によって、入国プロセスを迅速化する米国税関国境取締局（CBP）のプログラムです。渡航者はセルフサービスのキオスクを使用し、税関申告書とバイオ情報を提出します。APCは無料のサービスで、事前登録やメンバーシップを必要とせず、個人データや情報を処理するには最高レベルのセキュリティが維持されます。APCを使用する渡航者は待ち時間の短縮、混雑の軽減、迅速な処理を経験する事ができます。

自動パスポートコントロールはどのように使用できますか？

税関申告書用紙に記入する代わりに、条件を満たした渡航者はパスポート審査場のAPCキオスクに直接進む事ができます。渡航者はパスポートをスキャンし、キオスクで写真を撮影し、バイオ及びフライト情報を確認するための一連の質問に答えます。渡航者が一連の質問に答え、税関申告書を提出した後、レシートが発行されます。渡航者は、その後、パスポートとレシートをCBP審査官に提示し、米国入国への最終審査を終了します。キオスクは同住所に居住している渡航者を同時に処理することができます。

設置場所

APCキオスクは現在以下の空港に設置されています：

- ハーツフィールド ジャクソンアトランタ国際空港（ATL）
- アルバクイーン ベアトリックス国際空港（AUA）
- アブダビ国際空港（AUH）
- オースティン バーグストロム国際空港（AUS）
- ボストン-ローガン国際空港（BOS）
- シャルロット ダグラス国際空港（CLT）
- シカゴ ミッドウェイ国際空港（MDW）
- シカゴ オヘア国際空港（ORD）
- ダラス/フォートワオース国際空港（DFW）
- デンバー国際空港（DEN）
- デトロイト メトロポリタン ウェイン郡空港（DTW）
- ダブリン国際空港（DUB）
- エドモントン国際空港（YEG）
- フォートローダーデール-ハリウッド国際空港（FLL）
- ハリファックス スタンフィールド国際空港（YHZ）
- ホノルル国際空港（HNL）
- ヒューストン ジョージ ブッシュ インターコンチネンタル空港（IAH）
- ラスベガス マッカラン国際空港（LAS）
- ロスアンゼルス国際空港（LAX）
- マイアミ国際空港（MIA）
- ミネアポリス-セントポール国際空港（MSP）



- モントリオールピーエール エリオット トルドー国際空港 (YUL)
- ナソー リンデン ピンドリング国際空港 (NAS)
- ニューヨークジョン F. ケネディ国際空港 (JFK)
- ネットワーク リバティ国際空港 (EWR)
- オークランド国際空港 (OAK)
- オーランド国際空港 (MCO)
- フィラデルフィア国際空港 (PHL)
- フェニックス スカイ ハーバー国際空港 (PHX)
- ポートランド国際空港 (PDX)
- レノ国際空港 (RNO)
- ソルトレークシティ国際空港 (SLC)
- サンディエゴ国際空港 (SAN)
- サンフランシスコ国際空港 (SFO)
- シアトル シーアック国際空港 (SEA)
- タンパ国際空港 (TPA)
- トロント ピアソン国際空港 (YYZ)
- バンクーバー国際空港 (YVR)
- ワシントン ダレス国際空港 (IAD)

APCは誰が使用できますか？

米国、カナダ国パスポート保有者、及びビザ免除プログラム参加国からの渡航者が APC キオスクを使用することができます。 [ビザ免除プログラム訪問者](#)は、渡航前に [電子渡航認証システム \(ESTA\)](#) を取得し、2008 年以降に少なくとも一度米国を訪問していることが条件となります。

よくある質問

Q: APC は安全で信頼できる技術を使用していますか？

A: はい、APC 技術は個人情報保存しません。渡航者のパスポート情報と申告書質問への回答は、審査ブースで CBP 審査官が処理するのと同様の安全な暗号化プロトコルを通して直接 CBP に提出されます。

Q: 渡航者は税関申告書に記入する必要はありますか？

A: いいえ、渡航者はキオスクを使用して電子税関申告書を提出します。もし、渡航者が既に税関申告書に記入している場合、CBP 職員が用紙を廃棄します。

Q: APC キオスクでは何語が使用できますか？

A: 英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、韓国語、オランダ語、ドイツ語、中国語（繁体/簡体）、日本語

Q: 合法永住者は APC を使用することができますか？

A: CBP は現在合法永住者の APC 使用のテストをしており、今年末までにプログラムを開始する予定です。